

ミニ特集～高齢化社会見据えた注目分野 「脳の健康を考えたサプリメント事情」

アルツハイマー病に期待の成分 フェルラ酸のエビデンス蓄積

女性85・81歳、男性79歳と日本人の平均寿命が伸びるなかで認知症患者も増大している。2005年に160万人だった患者数は、2025年には300万人以上になると推計されている。認知症のなかではアルツハイマー病の頻度が高く、高齢の女性に多い。現代医学ではアルツハイマー病を完治に導くことは難しく、ドネベルジ（商品名アリセプト）の処方で行進を遅らせる治療が試みられている。

このような状況のなかで、期待されているのがフェルラ酸だ。米ぬかなど食品に存在する物質で抗炎症作用、抗活性酸素作用などがあると考えられている物質。2001年、韓国翰林大学のマウスの実験で、フェルラ酸がアルツハイマー病の原因物質だと考えられているアミロイドβタンパクの作用を抑え、マウスの記憶や

学習障害を改善、アルツハイマー病の予防、治療に効果がある可能性が示唆されたという結果が論文として英国の薬学誌「British Journal of Pharmacology」に掲載され注目された。また三星医療センターでアルツハイマー病の患者80人対し、フェルラ酸を主成分とするINM176の臨床試験（二重盲検）を実施し改善効果を確認したと報告している。

日本でもきのこエスポール病院（佐々木健院長、岡山県）が、グロービア（東京都中央区、☎03-5540-8975）の製造するフェルラ酸を主成分としたANM176（製品名フェルガード）の臨床試験を行い、認知機能の改善を認めたと報告している。

同試験はアルツハイマー型認知症またはアルツハイマー病と診断され

た19人を対象にANM176を6か月間使用してもらい認知機能にどのような影響があるかを調査したものの対象はANM176単独使用群（9名）とANM176と他剤（抗認知症薬）併用群（10名）。認知機能の評価は「ADAS-J Cog」を使用した。

この調査では、単独使用群、他剤併用群ともにADAS-J Cogの総得点の平均は減少し、改善傾向を示唆する結果だった。単独使用群9人中5名、併用群9人中6名がADAS-J Cog総得点で改善傾向を示したと報告している。

さらに現在、中村重信医師（京都臨床試験センター長）を会長に9つの医療機関の参加するANM連絡会によってANM176（製品名フェルガード）のアルツハイマー病への効果を確かめる臨床試験が、オープン法によって進められている。この結果は2008年3月に出される予定だ。

フェルラ酸含有サプリメントを 薬局・薬店向けに発売

グロービア

グロービア（東京都中央区、☎03-5540-8975）は、

米ぬかから抽出されたポリフェノールであるフェルラ酸とアセチルコリン分解酵素を阻害するクマリン酸を含有するハーブガーデンアゼンリカ抽出物（セイヨウトウキ）を主体とするサプリメント「フェルガード」（2g×60包、1万5000円）をクリニックスルートで展開しているが、先ごろ、薬局・薬店ルートなどに向けた「フェルガード100」（1・5g×60、6300円）を発売した。フェルガード100は1包にフ

エルラ酸100mg、ガーデンア

ゼリカ抽出物20mg、ビタミンC・Eなどを含有。フェルラ酸は抗酸化作用、抗菌作用、抗ガン作用などもあるとして期待されている成分だ。

脳のチェックとケアを提案 グロービアとのコラボで

ヘルス・ソリューションズ

認知機能を検査するコグヘルス

（CogHealth）を展開しているヘルス・ソリューション（東京都港区、☎03-5795-11596）。コグヘルスはオンラインで医師グループが開発した認知症の早期発見に役立つ検査方法。パソコンを使ってトランプゲームをするような感覚で5種類のゲームを行うことで、従来の

個人の正常な時のスコアを確認し、健康診断のように定期的に検査することで、脳機能の変化をモニターすることができる。年に2回から3回検査することで、早い時点で最適な対応をすることができると同社。会員性で年会費1人1万円。会員は検査を何回でも受けることができる。

検査では発見できなかった認知能力の低下やごく初期の認知障害、アルツハイマー病を検出できる。約15分で300項目のデータを取得し、インターネット経由で解析ソフトによるレポートが作成され

同社はこのほどグロービアと提携。CogHealthで脳の健康チェックを行い、フェルガード100でケアすることを提案。クリニックや検査センターなどへの訴求に力を入れている。

